

平成 27 年度第 6 回定例理事会抄録

日時：平成 27 年 10 月 17 日（土）13：04～16：25

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、荻原、土井（副会長）、宇田、苅山、小林正、陣内、藤井、三澤、山本（常務理事）、小川、川本、座小田、清水兼、清水順、高島、谷、二神、宮口（理事）、古川、長尾、早川（監事）

理事会の求めによる出席：柴田、西出、梶原、渡邊忠、岡本、谷川、山崎、石橋、小賀野（委員長）、岡本（事務局財務担当）、錠内（都道府県士会連絡協議会会長代理）

I. 報告事項

1. 平成 28 年度支出予算配分の目安について（岡本財務担当）平成 28 年度、各部に割り当てられる支出予算の目安となるものを算出した。これを目安に各部は 10 月 31 日までに 1 回目の予算の編成をお願いする。
2. 『五十年史』の配布方法の修正、希望者の募集および予算付けについて（荻原事務局長）提案に対し、無料で全員に配布すべきとの意見が出された。資料を揃え、改めて審議事項として提案することとなる。
3. 代議員選挙立候補届出状況について（荻原事務局長）選管より現段階の立候補者数が報告された。11 月 30 日まで推薦候補擁立を働きかけていく。
4. 協会システム適正化のための業務分析に係る経過報告（概要）について（荻原事務局長）8 月から動き始め、現在は課題分析の後、各部門メンバーによる討議、検討中の段階である。
5. 作業療法マニュアルの新企画と進行状況について（小林学術部長）今後発行予定のマニュアルの企画案と、現在、編集作業が行われているマニュアル、改訂を検討しているマニュアルがそれぞれ報告された。
6. 平成 28 年度診療報酬改定要望書について（山本制度対策部長）全国リハビリテーション医療関連団体協議会からの要望書が 9 月 30 日に厚労省に提出された。リハビリテーション専門職団体協議会の要望書は 10 月 19 日に提出される。
7. 特別支援学校のセンター的機能充実事業に関する 2 つの調査結果について（三澤制度対策副部長）第 1 次、第 2 次調査結果を、詳細版にて機関誌に提示し、短縮版を今月中にホームページに提示する。
8. 47 都道府県委員会への議題提案について（宇田 47 都道府県委員長）47 都道府県委

員会への議題が数多く寄せられている。日程の関係もあり、議題をよく検討して委員会への打診をお願いする。

9. 50周年事業に関連した各種イベントについて（宇田 50周年記念式典実行副委員長）事業に関連する各種イベントの考え方、今年度事業の展開と予算についての説明がされた。

10. 渉外活動報告

① 荻山理事：精從懇第168回定例会に出席。

② 清水順理事：リハビリテーション専門職団体協議会地域包括ケア対策委員会に出席。

③ 三澤理事：全国児童発達支援協議会とJDDネット理事会に出席。

④ 川本理事：「介護保険推進全国サミット in ひおき」に出席。

11. 関東・東北豪雨災害に関して（御礼とご報告）（荻原事務局長）茨城県士会よりお見舞いに対する御礼とJRATの動きの報告がなされた。

12. WFOT Congress 2014 報告（荻原事務局長）正式の報告書が完成した。

13. 政策協定事項（案）について（荻原事務局長）作業療法士連盟と作業療法士協会との間で3項の政策協定の案が了解された。

14. 日本作業療法士連盟報告 書面報告

15. 訪問リハビリテーション振興財団報告 書面報告

16. その他

小川理事：グッドデザイン賞に作業療法士協会のパンフレットが選定された。

II. 審議事項

1. 平成28年度重点活動項目（案）について（荻原事務局長、小賀野企画調整委員長）重点活動項目の案が提示され、国際部等から修正の提案がなされ、修正されたが、提案の方向が承認された。 →承認

2. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者16名が再度入会した。死亡退会者2名。 →承認

3. 認定作業療法士審査結果について（陣内教育部長）認定作業療法士審査の新規資格認定申請24名、更新認定申請11名、すべてを可と判断した。認定作業療法士の取得研修の水準審査では共通10研修、選択10研修、すべて可と判定された。 →承認

4. 臨床実習関連審査結果について（陣内教育部長）臨床実習指導者研修修了認定申請41件を審査し、全員を可と判定した。臨床実習指導者施設認定申請3件について全施設を可

と判定した。 →承認

5. 『五十年史』の配布方法の修正、希望者の募集および予算付けについて（荻原事務局長）
改めて動議として審議に上程された。会員全員に無料配布することが全会一致で決定された。 →承認

Ⅲ. 意見聴取

1. 来年度の理事会開催のあり方について（荻原事務局長）円滑な議事進行に向けての提案：①理事会前の準備日程を前倒しし、第一土曜日に三役会を開催する、②資料閲覧用のタブレットの貸与について意見聴取がされた。理事会として、①、②とも概ね賛成の意向である。

2. 今年度の理事活動報告書の提出について（荻原事務局長）業務執行理事の理事活動報告書を作成し、記載例が示された。事務局職員が草稿を作成し、理事が確認する方向で、11月監査に向けて提出を試みる。

以上